＜参考資料＞

報告区の状況　～統計や医療・介護に関して～

＜報告区＞

1.　福 島 区

2.　此 花 区

3.　中 央 区

4.　西　　区

5.　天王寺区

6.　浪 速 区

7.　淀 川 区

8.　城 東 区

9.　鶴 見 区

10.　阿倍野区

11.　住之江区

12.　平 野 区

13.　西 成 区

１．区プロフィール ２．統計からみる区の状況 ①主要統計指標 ②高齢化指標 ③区の水準 ④区の高齢化の特徴	３．区の地図 ４．地域の状況 ５．地域資源情報 ６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（2018(平成 30)年度～2020(令和 2)年度)より抜粋

１．福島区

１．福島区プロフィール

特徴	福島区は北に新淀川、南は堂島川・安治川に面し、大阪市の西北部に位置し、区内に九つの駅を有し、市内中心部や神戸方面への交通の要衝となっている。1990 年以降、区内各所に超高層マンションや大規模団地が建設された。福島駅周辺に商業地やオフィスビルが集積し、区の西部地域には、機械・金属製品工場が存在するが、近年は急速に宅地化が進んでいる。大開２丁目は、パナソニック創立の地もある。野田の藤見物は、その美しさから、600 年前の南北朝時代に盛んであったが、時を経ても「のだふじ」は豊かな房が特徴で、平成７年に区の花に制定された。
トピックス	福島区では、地域活動協議会と福島区まちづくりセンターの共同編集による「月刊地活協」で、区内の各地域活動協議会の日ごろの活動や、地域のキーパーソンを紹介している。 地域団体、市民、NPO、企業など多様な活動主体の参画のもとに形成された地域活動協議会が核となって、自律的に地域運営を行えるように様々な支援を行っており、高齢者や障がい者の日常生活の軽微なニーズに対し、身近な地域の有償ボランティアにより支えることができるよう、マッチングを実施している。

２．統計からみる福島区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	74,381 人	21	面積	4.67 ㎢	22
人口密度	15,927 人/㎢	9	世帯数	39,069 世帯	22

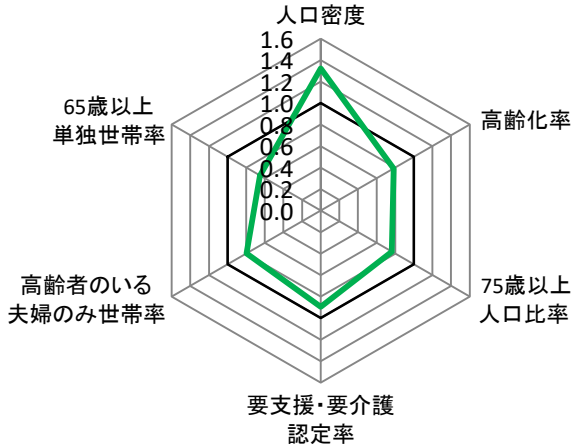
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	15,010 人	23	高齢化率	20.2%	19
65～74 歳人口	7,681 人	23	75 歳以上人口	7,328 人	22
65～74 歳人口比率	10.3%	19	75 歳以上人口比率	9.9%	20
要介護認定者数※1	3,247 人	23	認知症高齢者数（65 才以上）※2	676 人	24
（認定率）	22.0%	21	認知症高齢者数（75 才以上）※2	616 人	24
65 歳以上単独世帯数※3	3,635 世帯	24	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	2,581 世帯	23
（世帯率）	9.7%	22		6.9%	19

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月１日現在）

③福島区の水準（大阪市＝１とした指数）



④福島区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は 20.2%で 19 位である。
- ●65～74 歳以上人口比率は 19 位、75 歳以上人口比率は 20 位である。
- ●認定率は 21 位と下位である。
- ●65 才以上の高齢者の単独世帯、夫婦のみ世帯も下位である。
- ●各指標の高齢化水準が、全体的に大阪市平均と比較して順位が低く、高齢化が進んでいない区域である。

３．福島区の日常生活圏域図

４．地域の状況

■隣近所での「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった身近な地域の中で、高齢者等に関する課題の解決に取り組むことによって、豊かなコミュニティを醸成し、大規模災害をはじめ様々なリスクに耐え得る復元力の高い強靭な地域社会づくりをめざしている。

■地域の福祉活動サポート事業では、コーディネーターを区内 10 地域に配置し、地域の需要を掘り起こすため、高齢者食事サービスの会場などでも事業の周知に努めた。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	１か所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口	２か所	民生委員・児童委員	92 人
老人クラブ数	23 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	40	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	9			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	2
通所介護	7			小規模多機能型居宅介護	1
通所リハビリテーション	3			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	7	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	2				
短期入所療養介護	1			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	32			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	0か所	在宅療養支援歯科診療所	10 か所
在宅療養支援診療所	15 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	42 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■健康講座の開催
　保健福祉課（保健活動）において認知症予防、ロコモティブシンドローム予防、口腔ケアなど区民の方にとって関心の高い内容の講座を開催する。

■地域の福祉活動サポート事業
　区民の方が安心して暮らしていけるよう、身近な相談窓口を各地域のコミュニティーセンターに設け地域福祉コーディネーターを配置し、福祉サービスへの橋渡しや災害時の避難支援体制の構築促進を行う。

■ふくしま暮らし支え合いシステム事業
　住み慣れた地域で暮らして行けるよう介護サービスや自立支援サービスの対象外の軽微な家事のお手伝いをし地域での共助体制構築の推進を図る。

２．此花区

１．此花区プロフィール

特徴	此花区は、淀川河口の南部に位置し、面積は大阪市 24 区中第２位である。西は大阪湾に面し、北は淀川に南は安治川に接し、水利に恵まれ重化学工業を中心とする我が国の経済を支える臨海工業地帯として発展してきた。近年、産業構造の変化に伴い、工場の移転・集約や研究・開発部門への転換が図られている。西部臨海地域では平成 13 年３月に国際的なテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)」がオープンし、内外からの来訪者でにぎわっている。区の東部は、古くからの住宅地が形成されている。西島地区では、工場跡地を活用して、淀川沿いにスーパー堤防と一体化した水と緑に恵まれた快適な居住空間をめざした西島地区整備事業が完了している。
トピックス	高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせるようにと開設された在宅介護拠点施設「此花ふれあいセンター」、「おとしよりすこやかセンター西部館」や女性の社会参加と自立を支援する男女共同参画センター「クレオ大阪西」のほか、こども文化の振興を目的とした「大阪市立こども文化センター」、会館・室内プール等を複合した「此花総合センタービル」など、社会福祉施設や文化施設の充実も図られ、潤いのある住みよいまちづくりがめざされている。

２．統計からみる此花区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	66,362 人	23	面積	19.25 ㎢	2
人口密度	3,447 人/㎢	24	世帯数	31,309 世帯	23

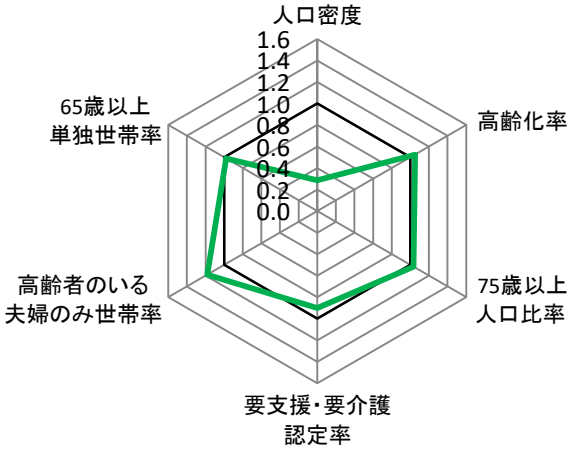
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	17,954 人	19	高齢化率	27.1%	10
65～74 歳人口	9,097 人	19	75 歳以上人口	8,856 人	19
65～74 歳人口比率	13.7%	7	75 歳以上人口比率	13.3%	11
要介護認定者数※1	4,024 人	19	認知症高齢者数（65 才以上）※2	773 人	22
（認定率）	22.2%	18	認知症高齢者数（75 才以上）※2	700 人	21
65 歳以上単独世帯数※3	4,467 世帯	21	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	3,134 世帯	19
（世帯率）	14.6%	11		10.2%	9

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月１日現在）

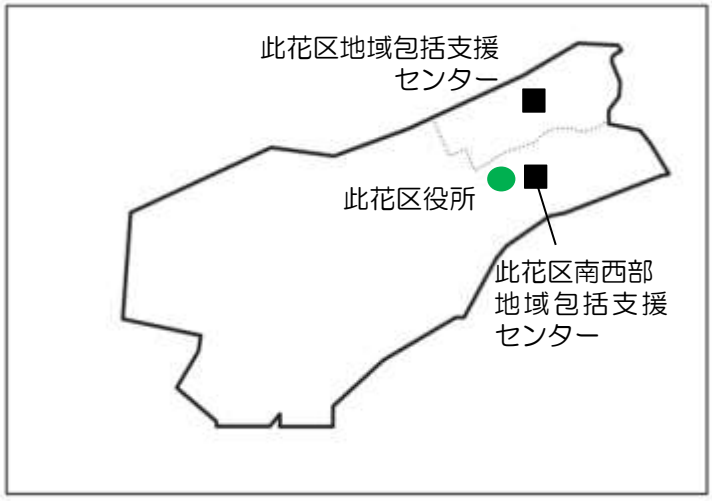
③此花区の水準（大阪市＝１とした指数）



④此花区の高齢化の特徴

- 高齢化率は 27.1%で 24 区中 10 位である。
- 65～74 歳人口比率は 13.7%で７位となっている。
- 認定率 22.2%と平均より低く、順位も 18 位である。
- 65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率がやや高い。
- 高齢化の状況は平均に近いが、65 歳～74 歳人口比率や、65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率がやや高い地域である。

３．此花区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■区の経営課題である誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実に向け、地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動を実施した。今後は、事業の地域への移行を見据えたボランティアリーダーの機能強化、担い手の育成が課題である。

■健康づくりについては、健康体操や血管すっきり健康講座など区民が身近な場所で主体的に健康づくりを図ることができる取り組みを実施している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	２か所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口（ブランチ）	１か所	民生委員・児童委員	117 人
老人クラブ数	10 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	30	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	5			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	0
通所介護	10			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	3			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	5	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4				
短期入所療養介護	1			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	24			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	２か所	在宅療養支援歯科診療所	13 か所
在宅療養支援診療所	17 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	22 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■このはな地域見守りタイ事業

誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実に向け、地域のボランティアの協力を得て高齢者等の見守り活動を実施している。

■此花区高齢者食事サービス事業

区内に居住するひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者等を対象に、ボランティアが地域施設での会食等の世話を行い、高齢者の健康の増進と孤独感の解消を図り、また、地域社会との交流を深め、高齢者の介護予防や社会参加を促進することを目的に食事サービス事業を実施している。

３．中央区

１．中央区プロフィール

特徴	中央区は、市街地の形成としては、わが国初の都市である難波宮から、近世の大坂城築城を経て今日に至る長い歴史をもつ。証券、薬、卸商などの経済活動が活発に展開され、商店街、百貨店、飲食店街では賑いを見せ、区内各所には著名人にまつわる由緒ある寺社や歴史的遺物なども数多く存在する。大阪城公園を中心とした地域では、緑あふれる都心のオアシスとして観光客が訪れ、市民の憩いの場として大きな役割を担っている。
トピックス	中央区では、まちの歴史と伝統を引き継ぎながら、地域のみなさんの連帯感により、コミュニティを大切にする世代を超えた交流が脈々と続いており、「区民まつり」をはじめとした多くの行事が開催されるなど、歴史と文化に彩られた伝統を継承しつつ、新しい時代の経済・文化の中心として、また、国際集客都市を構成する中心区として、活気あふれるまちづくり、コミュニティづくりを進めている。区のめざすべき将来像として、要援護者の見守り、医療と介護との連携に対する支援等を行うこと等を掲げている。

２．統計からみる中央区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	96,438 人	15	面積	8.87 ㎢	11
人口密度	10,872 人/㎢	19	世帯数	61,558 世帯	9

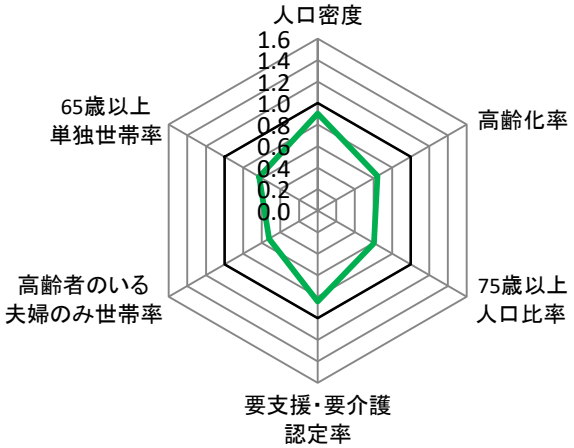
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	15,921 人	20	高齢化率	16.5%	23
65～74 歳人口	8,389 人	21	75 歳以上人口	7,532 人	21
65～74 歳人口比率	8.7%	23	75 歳以上人口比率	7.8%	23
要介護認定者数※1	3,312 人	22	認知症高齢者数（65 才以上）※2	860 人	19
（認定率）	20.7%	23	認知症高齢者数（75 才以上）※2	783 人	19
65 歳以上単独世帯数※3	5,500 世帯	17	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	2,660 世帯	20
（世帯率）	9.3%	23		4.5%	23

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

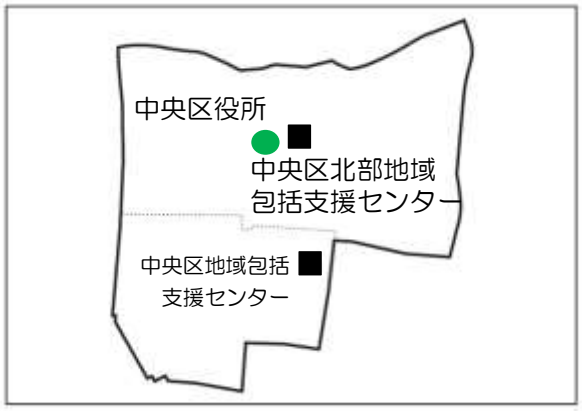
③中央区の水準（大阪市＝１とした指数）



④中央区の高齢化の特徴

- 高齢化率は 16.5%と低く、24 区中 23 位である。
- 65 歳～74 歳人口比率、75 歳以上人口比率ともに 23 位である。
- 65 歳以上単独世帯率、高齢者のいる夫婦のみ世帯率も 23 位となっている。
- 認定率は 23 位と低い。
- 各指標の水準が全体的に大阪市平均に比べて非常に低く、市内で高齢化が２番目に進んでいない区域である。

３．中央区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■要援護者の見守りネットワーク強化に向け「要援護者名簿」作成している。
■中央区在宅医療・介護ネットワークでは、区民や関係者に対して、在宅医療と介護との連携の必要性を啓発するとともに、区内の関係施設等の資源を検索しやすくするなど、実際に役立つ施策に取り組んでいる。
■在宅医療・介護関連施設の周知や関係機関との連携強化を図るなど、高齢者等が地域で安心して生活できる支援体制の充実に努めた。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	２か所	連合町会数（H27 国勢調査）	25 団体
総合相談窓口（ブランチ）	０か所	民生委員・児童委員	121 人
老人クラブ数	19 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	47	介護老人福祉施設	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	15			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	1
通所介護	5			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	2			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	25	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	2				
短期入所療養介護	1			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	37			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	０か所	在宅療養支援歯科診療所	26 か所
在宅療養支援診療所	32 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	97 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域福祉見守り活動事業
　中央区では、高齢者等が地域で安心して暮らすことができるよう、区内 17 地域に地域福祉コーディネーターを配置し、各種の相談に応じるとともに、要援護者に対して必要に応じて見守りを行っている。
■中央区地域ケア研究集会
　中央区では、地域包括ケアの推進に向けて、医師会が中心となり、医療・介護に関わる多職種の方々が参加する中央区地域ケア研究集会を年１回開催している。この研究集会で多職種の方々がお互い顔の見える関係づくりに務めることによって、医療・介護の連携に繋げている。
■ラジオ体操
　中央区では、平日の始業前に区役所ロビーで、区民の皆様と職員によるラジオ体操を実施し、健康増進とともにコミュニケーションの場づくりに取り組んでいる。

４．西区

１．西区プロフィール

特徴	西区は、区の中央部を流れる木津川を境に、東部は商業地域とともに高層住宅、西部は高い技術力をもったものづくり企業が集積し、大型ショッピングモールや商店街がある。東西南北に通じる幹線道路網があり、地下鉄・私鉄など区内を縦横に通じ交通至便である。都心の憩いの場としての靱公園をはじめ大小 30 か所の公園、市立中央図書館、靭テニスセンターなどの文化教育施設やスポーツ施設が充実している。良好な居住環境や交通の至便性が高く評価され、近年マンションの建設が相次ぎ、人口は増加の一途をたどっている。都心部にありながらも、様々な地域団体を中心に夏祭りや餅つき大会、防災、防犯活動、こども・高齢者の見守りなど地域活動も盛んである。
トピックス	西区では、「安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティ力の向上」、「こども・子育て施策の充実」を基本方針として、見守りや災害時の声掛けなど身近な地域の課題に対応する自助・共助の機能を充実するため、新たに区に流入した住民同士や既存の地域コミュニティとの間で、極的なコミュニケーションを図る取組みを進めるとともに、急増するこどもや子育て層に対する支援施策についても充実を図っていく。

２．統計からみる西区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	97,667 人	14	面積	5.21 ㎢	20
人口密度	18,746 人/㎢	2	世帯数	55,644 世帯	12

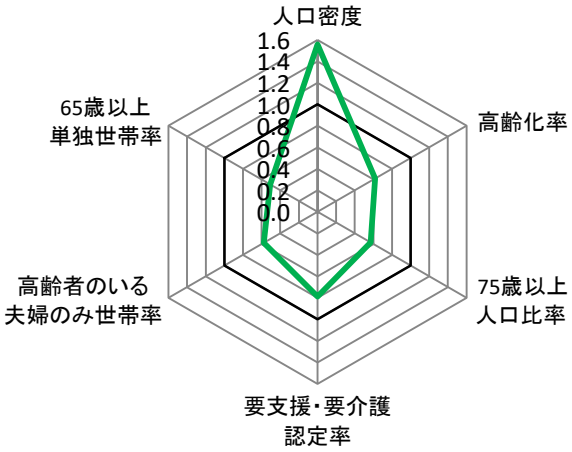
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	15,594 人	22	高齢化率	16.0%	24
65～74 歳人口	8,414 人	20	75 歳以上人口	7,179 人	23
65～74 歳人口比率	8.6%	24	75 歳以上人口比率	7.4%	24
要介護認定者数※1	2,976 人	24	認知症高齢者数（65 才以上）※2	709 人	23
（認定率）	19.4%	24	認知症高齢者数（75 才以上）※2	643 人	23
65 歳以上単独世帯数※3	3,934 世帯	23	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	2,591 世帯	22
（世帯率）	7.5%	24		5.0%	22

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

③西区の水準（大阪市＝１とした指数）



④西区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は 16.0%と最も低い。
- ●65～74 歳人口比率、75 歳以上人口比率と最も低い。
- ●65 歳以上のいる単独世帯率は 24 位と市内で最も低いが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 22 位である。
- ●認定率は 24 位と最も低い。
- ●各指標の水準が圧倒的に低く、市内でも高齢化が最も進んでいない区域である。

３．西区の日常生活圏域図

４．地域の状況

■高層マンション等の開発に伴う転入者の増加が続き、地域コミュニティの希薄化が懸念されるなか、誰もが安心して暮らし続けることができるよう、地域住民同士のつながりづくりが課題となっている。

■西区では、このような課題を踏まえて、地域住民のボランティアが主体となり、高齢者・障がい者・難病患者等、災害時に支援が必要とされる方々の見守りを行っており、区内 14 のすべての地域で組織的に活動し、地域のつながりづくりに取り組んでいる。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	１か所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ブランチ）	１か所	民生委員・児童委員	130 人
老人クラブ数	16 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	34	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	10			地域密着型通所介護	4
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	4
通所介護	4			小規模多機能型居宅介護	0
通所リハビリテーション	2			認知症対応型共同生活介護	3
福祉用具貸与	18	介護療養型医療施設	2	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	3				
短期入所療養介護	3			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	31			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	１か所	在宅療養支援歯科診療所	15 か所
在宅療養支援診療所	８か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	50 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■区地域福祉見守り応援事業

地域における見守り活動の支援として、高齢者・障がい者等の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくっていくために、見守りコーディネーターを区内の全 14 地域に配置し、支援を必要とする人への福祉情報提供や相談対応、関係機関との連携を行っている。また、区内で地域住民が主体となった見守り活動組織を継続して運営するための支援を行っている。

■在宅医療・介護連携推進事業

区民の在宅療養生活を支えるため、区内医療関係団体と介護関係団体との連携を促進するネットワークを構築。速やかな情報共有を行う仕組みとなる「情報共有シート」作成の過程や運用法の検証により、事業の要となる「顔の見える関係づくり」の充実に取り組んでいる。

５．天王寺区

１．天王寺区プロフィール

特徴	天王寺区は大阪市のほぼ中央に位置し、地勢は西高東低で南北にのびる帯状の上町丘陵と呼ばれる台地にある。区内には、わが国最初の大伽藍で、聖徳太子の創建(593 年)による四天王寺をはじめ約 200 の社寺があるほか、さまざまな名所旧跡が多く、歴史と伝統の息づく町である。また、天王寺公園をはじめ緑豊かな公園が多く、大学から幼稚園まで 70 に近い校園を有し、美術館・動物園などの文化施設にも恵まれた文教の町でもある。天王寺ターミナルは、JR を中心として地下鉄、私鉄等の各線が集結しており付近の百貨店、商店街、地下街等の商業活動も盛んで、大阪でも有数の繁華街を形成している。
トピックス	天王寺区には、大阪赤十字病院・大阪警察病院・NTT 西日本大阪病院などの大病院が多く、設備のすぐれた病院が数多く存在している。 「命を守る政策」がしっかりと進められているまちを目標のひとつに掲げている。重点的な経営課題として、65 歳以上高齢者の 4 割が独居世帯であり、急病時や災害時の孤立化などが懸念されることから、これまでの地域の見守り活動とも連携を図りながら見守りを推進するとともに、交流機会の充実を図るとしている。

２．統計からみる天王寺区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

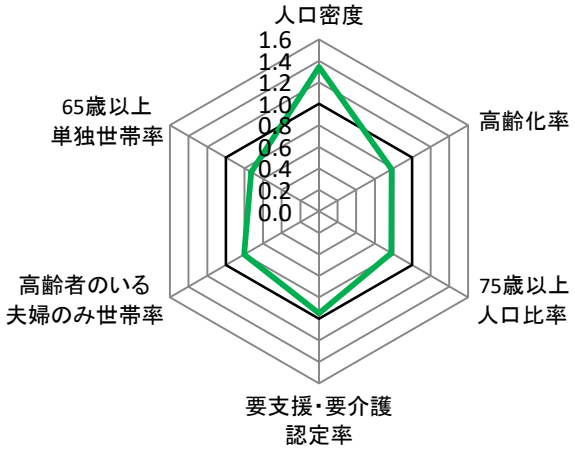
項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	78,372 人	20	面積	4.84 ㎢	21
人口密度	16,193 人/㎢	8	世帯数	39,604 世帯	21

②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	15,768 人	21	高齢化率	20.1%	20
65～74 歳人口	7,909 人	22	75 歳以上人口	7,861 人	20
65～74 歳人口比率	10.1%	22	75 歳以上人口比率	10.0%	19
要介護認定者数※1	3,441 人	20	認知症高齢者数（65 才以上）※2	792 人	21
（認定率）	23.3%	13	認知症高齢者数（75 才以上）※2	719 人	20
65 歳以上単独世帯数※3	4,121 世帯	22	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	2,639 世帯	21
（世帯率）	10.8%	20		6.9%	18

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月 1 日現在）
※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

③天王寺区の水準（大阪市＝１とした指数）



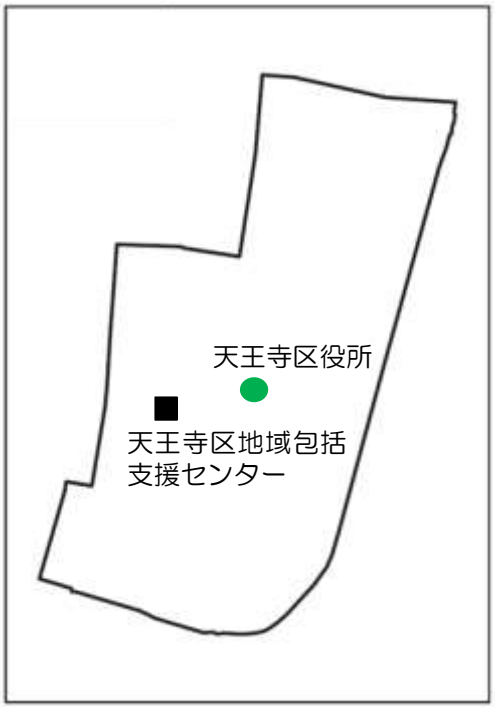
④天王寺区の高齢化の特徴

●高齢化率は 20.1%と低く、20 位である。
65～74 歳人口比率は 22 位、75 歳以上人口比率は 19 位と下位である。

●65 歳以上単独世帯率は 20 位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 18 位である。

●各指標の水準が、大阪市平均に比べて低く、比較的高齢化が進んでいない区域であるが、認定率は 13 位と中位である。

３．天王寺区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■お年寄り１人１人の命を守り抜く地域福祉を挙げている。急病時・災害時に高齢者が孤立しないよう、見守り体制が再構築され、見守りが必要な全ての高齢者が見守られている状態、全ての高齢者が交流できている状態をめざしている。

■独居高齢者は、急病時、災害時の孤立化や孤独死等が懸念されるが、「要援護者見守りネットワーク強化事業」（全市実施）の展開により、希望者を対象に地域による平時の見守りを実施するなど、地域における見守り体制は着実に構築されつつある。

５．地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	１か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	16 団体
連合町会数（H22 国勢調査）	９か所
民生委員・児童委員	97 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	14			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	11	介護療養型医療施設	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	3				
短期入所療養介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	5				
居宅介護支援	28			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	１か所	在宅療養支援歯科診療所	11 か所
在宅療養支援診療所	19 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	58 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■独居高齢者等見守りサポーター事業

75 歳以上の独居世帯、75 歳以上の高齢者のみで構成される世帯（介護サービス利用世帯・生活保護受給世帯などを除く）でボランティア等による定期的な訪問について同意した方に対し、地域の事情に応じて月１回程度見守り訪問を行う。

■安心安全カード周知・啓発事業

自分自身の情報（困ったときの連絡先、避難場所、かかりつけ医、いつも飲んでいる薬など）を記入しておくことにより、「いざ」というときに自分自身の安全を守るとともに、地域での助け合いの輪を広げることに役に立つカードを区民に対して広く周知・啓発を行う。

６．浪速区

１．浪速区プロフィール

特徴	浪速区は大阪市のほぼ中央に位置し、堺、和泉、和歌山、神戸、奈良方面への交通路にあたるなど立地条件に恵まれ、古くから中小商工業地域として発達してきた。長い歴史をもつ「大阪木津卸売市場」、「でんでんタウン」などの商業地域もあり、大阪のシンボル「通天閣」・「ジャンジャン横丁」がある新世界など、庶民の町として親しまれている。一方、関西国際空港や地方都市をつなぐ交通拠点と商業機能を持つ「湊町リバープレイス」、都会のオアシスとしての魅力を備えた「なんばパークス」など、賑わいを見せている。今宮戎神社など由緒ある神社仏閣も数多くあり、文化教育スポーツ施設も充実し、国際化・情報化に向けた新しい魅力ある街として飛躍を目指している。
トピックス	浪速区では、「賑わいと活力に満ち溢れるまちの創造」、誰もが「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目標に、区民の安全・安心を担う総合拠点として、区民の信頼を確保すること、活力ある地域づくりのため、地域活動を支える「かなめ」となって区民等を総合的に支援するといった使命を掲げている。

２．統計からみる浪速区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	72,350 人	22	面積	4.39 ㎢	24
人口密度	16,481 人/㎢	6	世帯数	49,925 世帯	15

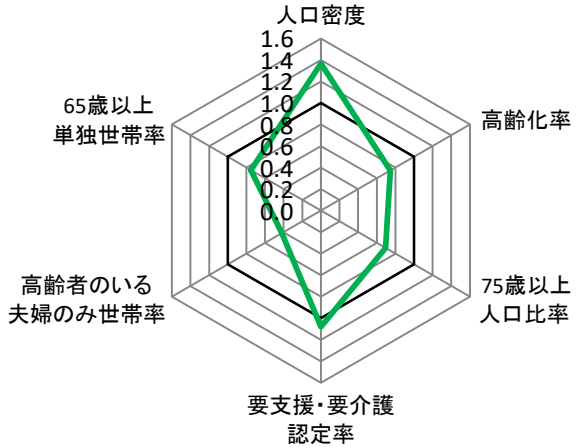
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	13,859 人	24	高齢化率	19.2%	21
65～74 歳人口	7,372 人	24	75 歳以上人口	6,487 人	24
65～74 歳人口比率	10.2%	20	75 歳以上人口比率	9.0%	22
要介護認定者数※1	3,340 人	21	認知症高齢者数（65 才以上）※2	839 人	20
（認定率）	26.5%	5	認知症高齢者数（75 才以上）※2	668 人	22
65 歳以上単独世帯数※3	5,303 世帯	19	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	1,723 世帯	24
（世帯率）	11.2%	19		3.6%	24

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

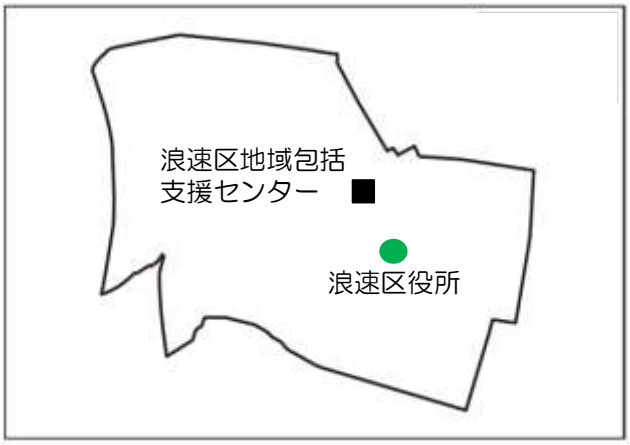
③浪速区の水準（大阪市＝１とした指数）



④浪速区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は 19.2%と低く、24 区中 21 位である。
- ●65～74 歳人口比率は 20 位、75 歳以上人口比率は 22 位と低い。
- ●認定率は 26.5%で５位となっている。
- ●65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率が 3.6%と市内で最も低い。
- ●大阪市平均に比べて各指標の人口比率・世帯率は低く、比較的高齢化が進んでいない区域であるが、認定率は高めである。

３．浪速区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■区社会福祉協議会に、福祉専門職のワーカーや要援護者名簿に係る同意確認の調査員を配置した「見守り相談担当」を設置し、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図っている。

①要援護者名簿登録にかかる本人同意確認・名簿整備等

②「見守り支援ネットワーカー」による孤立世帯等への専門的対応

③「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護の強化

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	１か所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ブランチ）	３か所	民生委員・児童委員	124 人
老人クラブ数	16 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	63	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	11			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	1
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	2			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	11	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5				
短期入所療養介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	45			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	１か所	在宅療養支援歯科診療所	11 か所
在宅療養支援診療所	17 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	41 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■医療・介護連携システム（A ケアカード）の構築

浪速区在宅連携協議会が進める A ケアカードシステムは、医療と介護現場の多職種（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー）で保有している患者（利用者）の情報を相互に共有するシステムで、平成 28 年 11 月に運用開始した。ICT を活用し、各現場の端末機器で最新の医療・介護情報を確認することにより、利用者に最も適した医療・介護サービスを速やかに提供する。国が推進する「地域包括ケアシステム」の多種職連携のひとつとして、将来的に多様な支援の一体化を目指すものである。普及・利用の促進のため、浪速区が協力団体となって、広報面での支援を行っている。具体的には、区広報誌への定期的な記事の掲載と在宅医療・介護連携推進事業の一環としてリーフレット等の作成を行っている。また、協力団体として、浪速区在宅連携協議会の定例会へ傍聴者として出席し、また参加団体間のメーリングリストに加入することにより、状況の把握と連携に努めている。

・浪速区在宅連携協議会の参加団体

浪速区医師会・浪速区歯科医師会・浪速区薬剤師会・浪速区内訪問看護ステーション・浪速区居宅介護支援事業者連絡会

7．淀川区

1．淀川区プロフィール

特徴	淀川区は市内北部を貫流する淀川の北岸に位置し、東は東淀川区、西は西淀川区、南は北区、北は吹田、豊中、尼崎の３市にそれぞれ隣接している。古くから、交通の要衝として栄え、新大阪駅の設置、地下鉄御堂筋線の延伸により、また、大規模な区画整理による近代的な都市づくりが進められたことにより、めざましく発展してきた。近年では都心へのアクセスとなるJR東西線が開通し、加島駅が設置されるなど鉄道整備も進んできた。区内の産業は、卸・小売業、飲食店を中心とする商業活動が主であるが、機械器具製造業、金属製品製造業を中心とする工業活動も盛んであり、商・工業活動とも常に本市の上位を占めており、将来性豊かな、活気と魅力にあふれた区である。
トピックス	淀川区では、平成14年５月には、十三市民病院が、高度な医療設備と最良の医療環境を兼ね備えた地域の「中核病院」として野中北二丁目にオープンした。都市環境の整備が図られるとともに、高齢社会に備え高齢者福祉施設も順次建設されるなど、安心して住みよいまちづくりへと進展しつつある。

2．統計からみる淀川区の状況（基準日：平成29年10月１日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	179,136人	2	面積	12.64㎢	6
人口密度	14,172人/㎢	13	世帯数	97,988世帯	1

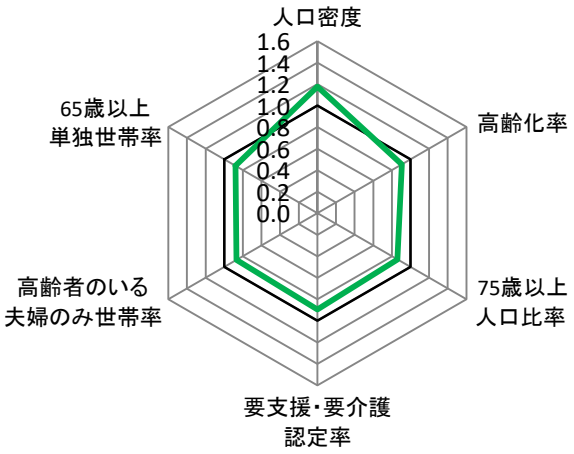
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	41,847人	6	高齢化率	23.4%	17
65～74歳人口	21,944人	3	75歳以上人口	19,903人	7
65～74歳人口比率	12.2%	17	75歳以上人口比率	11.1%	18
要介護認定者数※1	8,981人	8	認知症高齢者数（65才以上）※2	1,951人	8
（認定率）	22.0%	20	認知症高齢者数（75才以上）※2	1,715人	8
65歳以上単独世帯数※3	12,351世帯	4	65歳以上高齢者のいる夫婦	7,076世帯	5
（世帯率）	13.1%	16	のみ世帯数※3（世帯率）	7.5%	17

※1：平成29年9月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

※3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

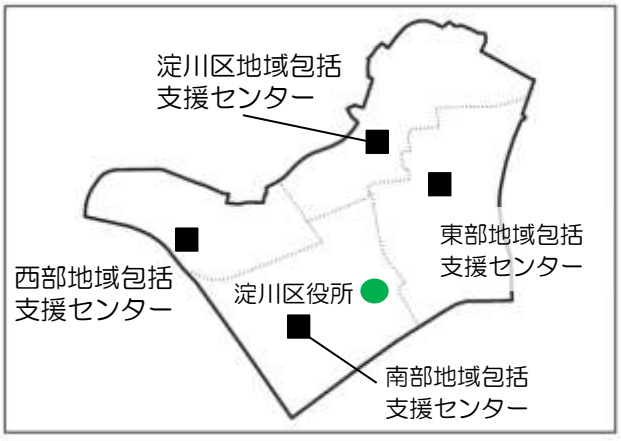
③淀川区の水準（大阪市＝１とした指数）



④淀川区の高齢化の特徴

- 高齢化率は23.4%と24区中17位である。
- 65～74歳人口比率は17位、75歳以上人口比率は18位である。
- 65歳以上単独世帯率は16位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は17位である。
- 認定率は20位となっている。
- 各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて低く、比較的、高齢化はあまり進んでいない区域である。

３．淀川区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■区は、区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点としての役割、活力ある地域社会づくりに向けた自律的な地域運営を支援する役割を担う。

■「安全・安心に暮らせるまち」を経営課題として、多様な主体が参画する訓練など「自助」「共助」の取り組みを促進している。

■地域コミュニティが希薄になりつつある現状において、地域の助け合い、ささえ合いの体制づくり、地域福祉の担い手づくりに取り組んでいる。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所	連合町会数（H27 国勢調査）	18 団体
総合相談窓口（ブランチ）	３か所	民生委員・児童委員	226 人
老人クラブ数	25 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	91	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	4			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	19			地域密着型通所介護	32
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	6
通所介護	22			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	14
福祉用具貸与	19	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8				
短期入所療養介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	8				
居宅介護支援	71			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	１か所	在宅療養支援歯科診療所	26 か所
在宅療養支援診療所	30 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	75 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域見守り活動サポート事業
　平成 29 年度から、淀川区社協内の見守り相談室に、４つの地域包括圏域ごとに担当するコミュニティソーシャルワーカーを増員し配置した 18 地域の調査員等の協力のもと、毎年各地域でワークショップを開催するなど、連携しながら地域における要援護者の見守り体制構築に取り組んでいる。

■講演会・イベントや広報誌などによる認知症予防普及･啓発
　専門医による講演会、健康＆食育フェスタ等イベント、広報誌に隔月で「認知症発症予防と生活習慣病の改善」をテーマに記事を連載するほか、啓発リーフレットを作成・配布により認知症予防啓発を実施している。

■いきいき百歳体操
　区内の百歳体操の開催状況を把握し、９月高齢者月間には広報誌に取り組み状況などの掲載を行っている。また、健康づくり推進協議会と連携しながらボランティア対象の交流会を年１回開催している。

８．城東区

１．城東区プロフィール

特徴	城東区は大阪城の東に位置し、地勢的には東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高 1～2m と区域全般に低く平坦で、東西に寝屋川と第二寝屋川が流れ、南北に城北川、平野川、平野川分水路が通じるなど、河川が多く、他区にない特徴を示している。鉄道交通網では地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線・中央線、JR 学研都市線、京阪電鉄の各鉄道が区内を走っている。 近年では区内各地区で工場等の転出跡地などに高層集合住宅や大規模小売店が相次いで建設されるなど、生活・交通至便な住宅地へと変化している。
トピックス	城東区では、今後も、公共交通機関の一層の充実、水辺環境整備、緑化の推進などによって、職・住のバランスのとれた区として発展が期待される。区の目標は「城東区に住んでよかったと思えるまち　～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」であり、老若男女、障がい者、外国人など、すべての人が気持よく住めるまち、近所づきあい、つながり、きずなが あるまち、生きがいを持って暮らし、ふるさと城東区をほこりと思えるまち、すべての人が、安全で安心して暮らせるまちをめざしている。

２．統計からみる城東区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	166,242 人	4	面積	8.38 ㎢	12
人口密度	19,838 人/㎢	1	世帯数	78,478 世帯	4

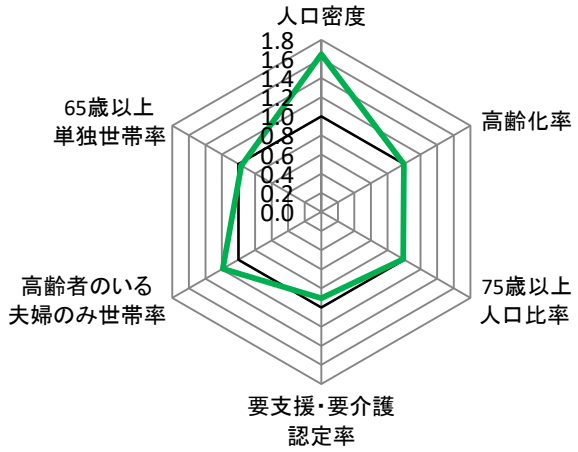
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	42,650 人	4	高齢化率	25.7%	13
65～74 歳人口	21,401 人	5	75 歳以上人口	21,250 人	5
65～74 歳人口比率	12.9%	12	75 歳以上人口比率	12.8%	13
要介護認定者数※1	9,531 人	7	認知症高齢者数（65 才以上）※2	1,965 人	7
（認定率）	22.2%	17	認知症高齢者数（75 才以上）※2	1,751 人	7
65 歳以上単独世帯数※3	10,967 世帯	7	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	7,855 世帯	2
（世帯率）	14.4%	12		10.3%	7

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

③城東区の水準（大阪市＝１とした指数）



④城東区の高齢化の特徴

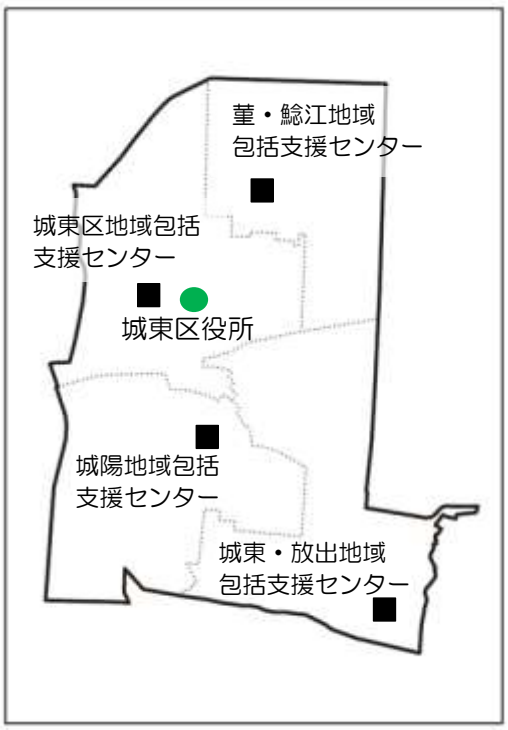
●高齢化率は 25.7%と大阪市平均に近く、13 位である。

●65 歳以上単独世帯率は 12 位と平均的であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は７位となっている。

●認定率は 17 位と低い方である。

●高齢化率、75 歳以上人口比率の水準は平均的な一方で、高齢者のいる夫婦のみ世帯率が高い地域となっている。

３．城東区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■地域における見守りの取組みや、地域包括ケアシステムの構築については、地域や関係機関と連携を深めながら順調に進捗しており、めざすべき将来像の実現に向け、取組みを進めている。
■区内の医療・介護関係機関が相互に顔の見える関係を築くため、個別事例を踏まえ各職種がそれぞれの役割や職種間連携方法について協議する研修会を企画・実施している。
■区民を対象に、地域包括ケアシステムに関する意識啓発を図るための講演会を企画・実施している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	61 団体
連合町会数（平成 27 年国勢調査）	16 団体
民生委員・児童委員	210 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	93	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	17			地域密着型通所介護	29
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	4
通所介護	17			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	10			認知症対応型共同生活介護	11
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5				
短期入所療養介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	68			複合型サービス	1

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	３か所	在宅療養支援歯科診療所	16 か所
在宅療養支援診療所	56 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	74 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■「いきいき・かみかみ百歳体操」推進の取組み
　いきいき・かみかみ百歳体操サポーター講座（４回）といきいき・かみかみ百歳体操サポーターパワーアップ講座（年２回）を実施し、各会場との交流会を行っている。また、毎年開催している健康まつり（健康展）において 90 歳以上の継続参加者を表彰する等モチベーションの維持・向上の取組みを行っている。また、各拠点継続支援のため、咀嚼力判定や出席手帳配付、「いきいき百歳体操通信」発行の取組みを行っている。

９．鶴見区

１．鶴見区プロフィール

特徴	鶴見区は大阪市の最東部に位置し、西を城東区、北西を旭区、北を守口市と接し、北東を門真市、東を大東市、南を東大阪市と城東区に接している。花の万博以降、目覚ましい発展をとげ、中・高層住宅の建設、地下鉄鶴見緑地線の東西延伸、JR 東西線開通、東野田茨田線の拡幅事業、JR 放出駅周辺地区の土地区画整理事業などが進捗し、農地の広がるまちから都市基盤が整備された便利なまちへと変貌を遂げ、平成 10 年７月には人口が 10 万人を突破した。〝国際都市大阪〟の東西の発展軸上の東の区として、今後、ますますの飛躍が期待されている。
トピックス	鶴見区にある鶴見緑地では花の万博終了後順次整備が進められ、「咲くやこの花館」をはじめ、豊かな自然の中でスポーツ・レクリエーション・文化活動等幅広く利用できる市民の憩いの場として、「UNEP 国際環境技術センター」「鶴見スポーツセンター」「鶴見緑地プール」「運動場」「球技場」「自然体験観察園」等がオープンしている。近くには「花の卸売市場」日本初の「スヌーピータウン」「ファクトリーアウトレット」の３つの施設が一体となった「鶴見はなぽーとブロッサム」も開設されている。

２．統計からみる鶴見区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	111,563 人	10	面積	8.17 ㎢	14
人口密度	13,655 人/㎢	14	世帯数	47,076 世帯	16

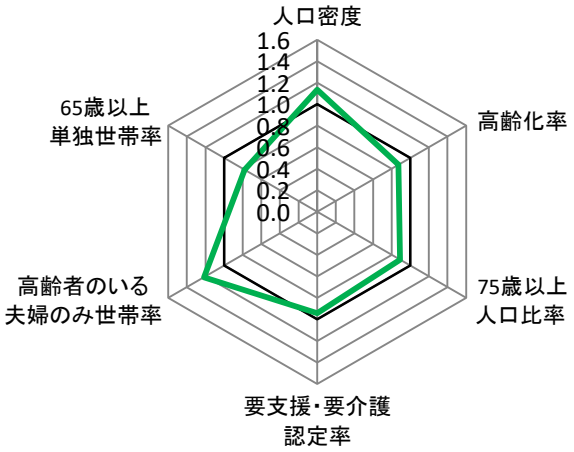
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	25,080 人	13	高齢化率	22.5%	18
65～74 歳人口	12,251 人	15	75 歳以上人口	12,828 人	12
65～74 歳人口比率	11.0%	18	75 歳以上人口比率	11.5%	17
要介護認定者数※1	5,760 人	12	認知症高齢者数（65 才以上）※2	1,460 人	11
（認定率）	23.2%	14	認知症高齢者数（75 才以上）※2	1,315 人	11
65 歳以上単独世帯数※3	5,374 世帯	18	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	4,869 世帯	11
（世帯率）	11.6%	18		10.5%	6

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月１日現在）

③鶴見区の水準（大阪市＝１とした指数）



④鶴見区の高齢化の特徴

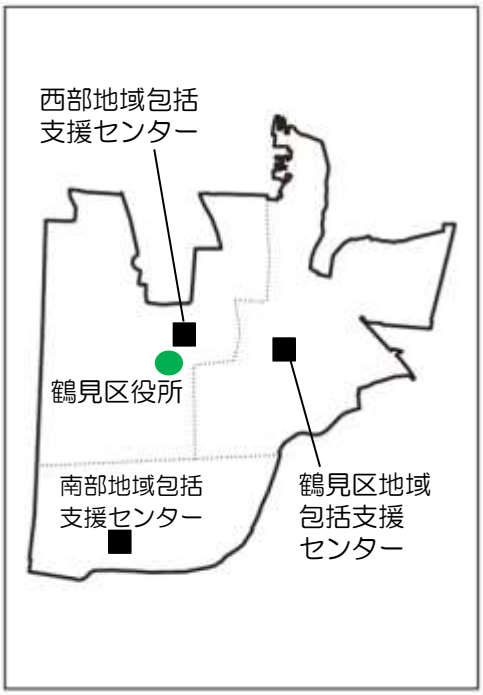
●高齢化率は 22.5%と 24 区中 18 位であり、65～74 歳人口比率も 18 位、75 歳以上人口比率は 17 位である。

●65 歳以上単独世帯率が 18 位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は６位である。

●認定率は 14 位で、市平均を若干下回る。

●人口からみた高齢化水準は市平均を下回るが、高齢者のいる世帯水準をみると、単独は低く、夫婦のみ世帯率は高い地域である。

３．鶴見区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■こどもから高齢者まで、鶴見区で暮らすすべての人が地域や身近な人々と「つながり、ふれあい、見守り、支え合う、だれもが安心して暮らせるまち」の実現を目指している。
■住民主体の地域福祉ネットワーク推進事業を進め、地域住民からの相談受付や、生活課題等の解決につなげている。
■地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化を図っている。

５．地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	３か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	26 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	12 団体
民生委員・児童委員	122 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	56	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	13			地域密着型通所介護	17
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	1
通所介護	15			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	7			認知症対応型共同生活介護	6
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	9				
短期入所療養介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	47			複合型サービス	1

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	３か所	在宅療養支援歯科診療所	７か所
在宅療養支援診療所	20 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	40 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業
　住民の身近な相談窓口として各地域に地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を配置し、そのつなげ隊への助言等の支援や情報提供、地域有償ボランティア事業「あいまち」を運営するコミュニティソーシャルワーカーを配置するとともに、地域福祉活動への支援をおこなう。また、地域住民が主体となって取り組む地域福祉活動の推進や、地域ネットワークの構築、活性化を図りつつ、地域福祉活動の担い手の発掘・育成にも努めている。本事業を推進するにあたっては、「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化に努めるとともに、保健師や生活支援コーディネーターとも連携し、いきいき百歳体操をはじめとした集いの場作りも進めている。

10. 阿倍野区

1．阿倍野区プロフィール

特徴	阿倍野区は上町台地の南の高台に位置し、古くから大阪南部の交通の要衝として栄え、名所・史跡も多く、住宅・商業の町として発展してきた。とりわけ阿倍野橋・天王寺は、大阪の南の玄関口として各種の交通機関が集結し、多数の乗降客が行き交うターミナルである。周辺一帯は、活気のある商業地区を形成しており、阿倍野再開発事業により、平成 23 年 4 月には大阪府内最大級のショッピングセンターがオープンした。区域全体としては、比較的閑静な住宅地として発展してきた。
トピックス	誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現に向けて、区将来ビジョンの１つに「 地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち」を掲げ、関係機関等と連携し、地域福祉や健康づくりに関する課題解決に取り組んでいる。

2．統計からみる阿倍野区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	108,642 人	12	面積	5.98 ㎢	19
人口密度	18,168 人/㎢	3	世帯数	51,145 世帯	14

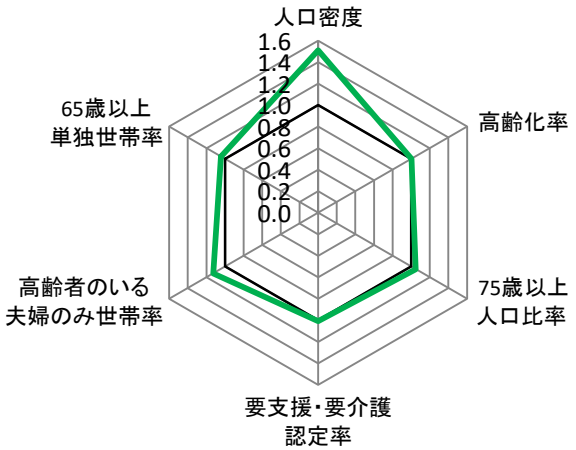
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	28,041 人	10	高齢化率	25.8%	12
65～74 歳人口	13,321 人	11	75 歳以上人口	14,720 人	10
65～74 歳人口比率	12.3%	16	75 歳以上人口比率	13.5%	10
要介護認定者数※1	6,883 人	10	認知症高齢者数（65 才以上）※2	1,279 人	14
（認定率）	24.7%	9	認知症高齢者数（75 才以上）※2	1,166 人	13
65 歳以上単独世帯数※3	7,780 世帯	10	65 歳以上高齢者のいる夫婦	4,880 世帯	10
（世帯率）	15.5%	9	のみ世帯数※3（世帯率）	9.7%	11

※1：平成 29 年9月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年4月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

③阿倍野区の水準（大阪市＝１とした指数）



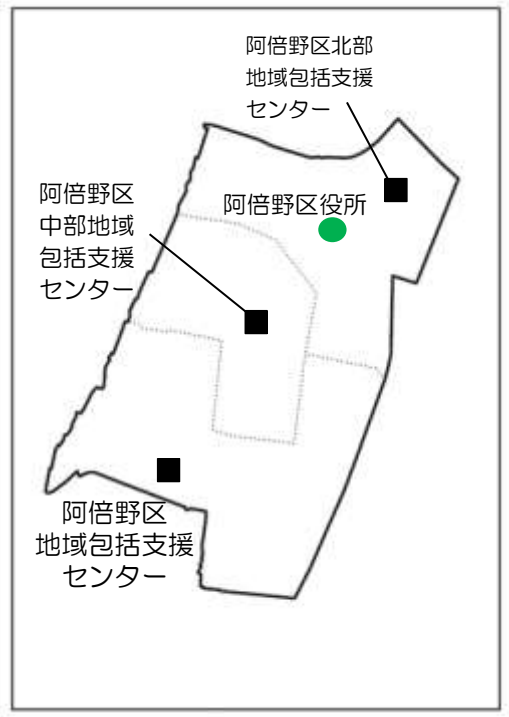
④阿倍野区の高齢化の特徴

●高齢化率は 25.8%で 24 区中 12 位と中位にある。65～74 歳人口比率が 16 位に対し、75 歳以上人口比率は 10 位と差がある。

●65 歳以上単独世帯率は９位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 11 位であり、ともに大阪市水準をやや上回る。

●高齢化率が中位のわりに、他の指標は平均に比べ若干高く、世帯の高齢化水準がやや進んでいる区域である。

３．阿倍野区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■地域福祉コーディネーターを軸として、地域の要援護者の把握や見守りボランティア活動を継続的に取り組み、世代を超えて相互に支え合う体制づくりがなされている。
■高齢者の虐待防止や成年後見制度について周知啓発をしてきたことにより高齢者の権利擁護に寄与している。
■生活習慣病予防、健康づくりのためにあべのウォーク等を開催し、運動習慣者が増加傾向である。特定健診受診者も年々増加している。

５．地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	３か所
総合相談窓口（ブランチ）	２か所
老人クラブ数	43 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
民生委員・児童委員	144 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	88	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	21			地域密着型通所介護	19
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	17			小規模多機能型居宅介護	4
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	8
福祉用具貸与	17	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4				
短期入所療養介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	9				
居宅介護支援	72			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	0か所	在宅療養支援歯科診療所	20 か所
在宅療養支援診療所	27 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	68 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■あべのウォーク/ちょこっとウォーキング
　阿倍野区健康づくり推進協議会(事務局：保健福祉センター)と老人クラブが主催するウォーキングイベント。生活習慣病及び認知症予防を目的として年 10 回開催している。
■サポーター養成講座
　あべのウォーク/ちょこっとウォークの企画・運営をサポートし、地域での運動習慣化を推進するリーダーとして養成しており、平成 29 年 10 月１日現在34 名が登録している。
■「あべの　安全・安心　見守り、支え合い隊」事業
　「地域福祉コーディネーター」を各地域に配置し、地域と連携しながら介護情報や緊急連絡先等を記載した「要援護者名簿」の整理・充実を図るとともに、ボランティアの発掘・育成を進め、地域の福祉ニーズを把握する体制をつくり、地域自らによる見守り体制の構築を図る。
■大阪市阿倍野区高齢者食事サービス事業
　ひとり暮らし高齢者等を対象に会食等の食事サービスを実施する事業者に補助を行うことにより、高齢者の健康増進、地域社会との交流、介護予防、社会参加の促進を図る。

11. 住之江区

1．住之江区プロフィール

特徴	住之江区は大阪市の南西部に位置し、北を大正区と西成区に、東を住吉区に接し、南は大和川を隔てて堺市に隣接し、西は大阪港にひらけている。区の東部は、古くから紀州街道沿いに町並みが形成され、南海本線や阪堺線の開通にともなって、住宅地・商店街として発展してきた。中部の木津川沿いから平林にかけての地域は、造船・鉄鋼・金属関係の重工業地帯として発展してきた。西部に位置する咲洲（南港）は、自然と文化・暮らしと経済の調和をめざした新しい港湾都市としての整備により、憩いと安らぎのまちづくりが進められてきた。
トピックス	住之江では、大阪港咲洲トンネルの開通により、都心へのアクセスがより一層確保され、ポートタウン北側の「コスモスクエア」では、国際見本市会場（インテックス大阪）・アジア太平洋トレードセンター（ATC）など、21 世紀の国際文化情報都市にふさわしい、新しいまちづくりが行なわれている。

2．統計からみる住之江区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	121,785 人	9	面積	20.61 ㎢	1
人口密度	5,909 人/㎢	23	世帯数	57,851 世帯	11

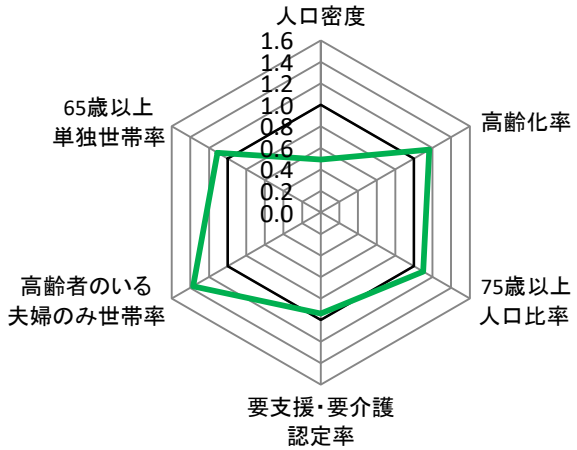
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	36,522 人	9	高齢化率	30.0%	5
65～74 歳人口	19,254 人	8	75 歳以上人口	17,268 人	9
65～74 歳人口比率	15.8%	2	75 歳以上人口比率	14.2%	9
要介護認定者数※1	8,291 人	9	認知症高齢者数（65 才以上）※2	1,612 人	10
（認定率）	23.1%	15	認知症高齢者数（75 才以上）※2	1,402 人	10
65 歳以上単独世帯数※3	9,365 世帯	9	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	6,738 世帯	6
（世帯率）	16.5%	8		11.8%	2

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

③住之江区の水準（大阪市＝１とした指数）



④住之江区の高齢化の特徴

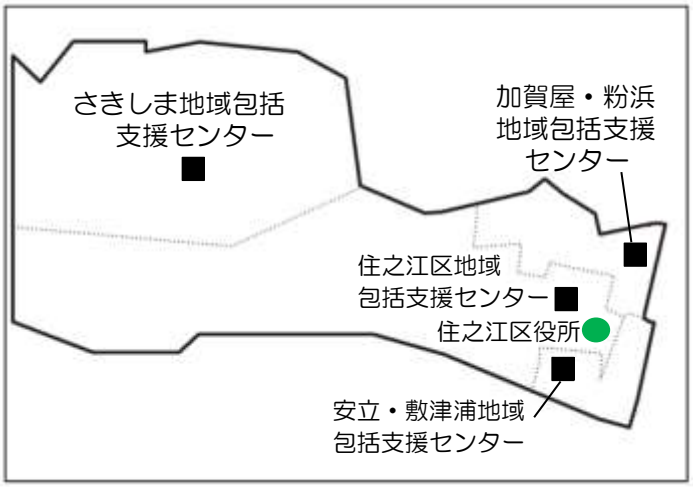
●高齢化率は 30.0%と５位である

●65～74 歳人口比率２位に対して、75 歳以上人口比率は９位と差がみられる。

●65 歳以上単独世帯率は８位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は２位となっている。

●各指標の水準が、概ね大阪市の水準より高く、高齢化が進行している区域であるが、認定率は 15 位と低くなっている。

３．住之江区の日常生活圏域図



４．地域の状況

■子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
■「見守りあったかネット事業」の推進により、要援護者の見守り体制を構築している。
■人材不足の介護事業所と、生活困窮者の就労をマッチングし、介護人材の循環の仕組みを立ち上げている。
■「咲洲ウェルネスタウン計画」における取組事業を順次実施している。

５．地域資源情報

①地域資源の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ブランチ）	３か所	民生委員・児童委員	187 人
老人クラブ数	48 団体		

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	82	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	19			地域密着型通所介護	24
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	6	認知症対応型通所介護	1
通所介護	20			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	9
福祉用具貸与	15	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8				
短期入所療養介護	7			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	60			複合型サービス	1

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	１か所	在宅療養支援歯科診療所	15 か所
在宅療養支援診療所	35 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	60 か所

６．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■生活支援コーディネーターとの連携
　地域福祉資源の発掘やと地域団体とのコーディネートなどを行う生活支援コーディネーターと共に、区民で構成される実行委員会にて地域福祉課題についての定期的な会議やイベントの実施。また、実行委員会は協議体のひとつとしても位置づけられている。
■企業や大学との連携
　７社との見守り協定を締結し、意見交換会や、あったかネットサポーター養成講座を実施
地域団体が実施する高齢者向けアンケートへ大学が調査計画の監修等で協力している。

12. 平野区

1．平野区プロフィール

特徴	平野区は大阪市の東南部に位置し、東は八尾市、西は東住吉区、南は松原市、北は生野区及び東大阪市に接している。全般的には住居地域としての色合いが強く、公営住宅数については市内１位（24,274 戸：平成 29 年４月１日現在）を有している。 南部の喜連・瓜破・長吉地域は公営住宅や中高層住宅が建つ比較的新しい町並みの中に農地や遺跡が存在し、中央部の平野地域は古い家々と多数の神社・仏閣が存在する町並み、北部の加美地域は工業地区としての性格を有する町並みなどバラエティーに富んだ町になっている。区内の交通機関については、北部を JR 大和路線・おおさか東線、中央部から東南部は地下鉄谷町線が通り、それぞれ市の中央部と直結している。
トピックス	平野区の施設では、男女共同参画社会をめざす『クレオ大阪南(男女共同参画センター南部館)』、おとしよりの自立を支援し、住み慣れた家庭への復帰をお手伝いする『おとしよりすこやかセンター南部館』、出会う・学ぶ・創るをテーマにした手作り工芸の『大阪市立クラフトパーク』、バリアフリーの『平野屋内プール』、人権と文化の輪を拡げる『平野図書館』、など、人々の暮らしを豊かに夢あるものへと誘う様々な整備が進んでいる。 また、障がい者支援の基幹施設である『大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター』、発達障がいの各種相談等を行う『大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」』などの大阪市における基幹施設も所在している。

2．統計からみる平野区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	194,955 人	1	面積	15.28 ㎢	3
人口密度	12,759 人/㎢	17	世帯数	90,536 世帯	3
公営住宅数※	24,274 戸	1			

※：平成 29 年４月１日現在

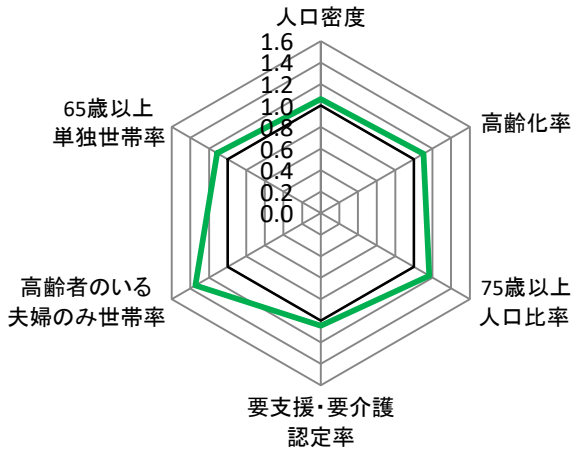
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	55,413 人	1	高齢化率	28.4%	7
65～74 歳人口	26,067 人	1	75 歳以上人口	29,346 人	1
65～74 歳人口比率	13.4%	9	75 歳以上人口比率	15.1%	6
要介護認定者数※1	14,079 人	1	認知症高齢者数（65 才以上）※2	3,262 人	2
（認定率）	25.7%	6	認知症高齢者数（75 才以上）※2	2,849 人	1
65 歳以上単独世帯数※3	14,720 世帯	2	65 歳以上高齢者のいる夫婦	10,338 世帯	1
（世帯率）	16.6%	6	のみ世帯数※3（世帯率）	11.6%	4

※1：平成 29 年９月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年４月１日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月１日現在）

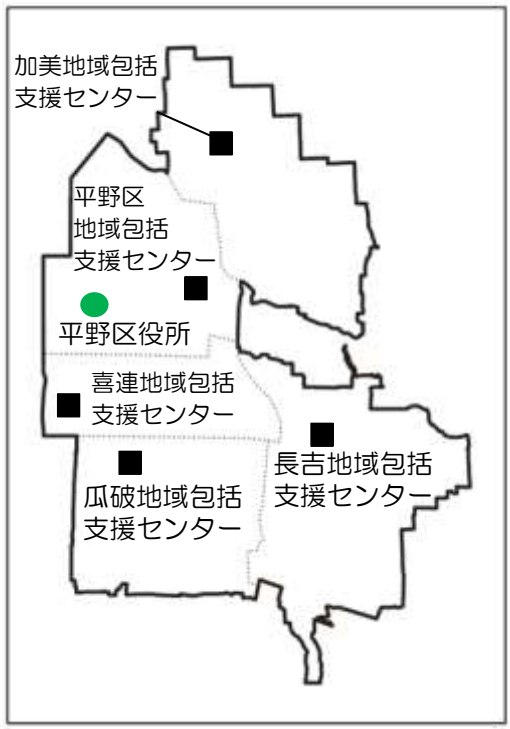
③平野区の水準（大阪市＝１とした指数）



④平野区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は 28.4%と 24 区中で７位である。
- ●65～74 歳人口比率が９位に対して、75 歳以上人口比率は６位である。
- ●65 歳以上単独世帯率は６位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は４位となっている。
- ●認定率は６位となっている。
- ●各指標の水準すべてにおいて大阪市の水準を上回っており、高齢化が非常に進んでいる区域である。

3．平野区の日常生活圏域図



4．地域の状況

■高齢化率が平成 22 年から平成 27 年において 24.2%から 27.6%（国勢調査）に増加している平野区において、地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」「支える」ために、地域の特性に応じた支援体制の基盤整備を行いつつ、誰もがお互いを支えあえる地域福祉活動の推進を図っていく必要がある。

■65 歳以上の在宅認知症高齢者等の数が平成 21 年から平成 27 年の６年間で 1.6 倍に増加している。認知症になっても、住んでいる地域で自分らしく安心して暮らしを続けることができるよう、認知症の予防や理解を促進し、認知症高齢者を支援するための取組や連携強化を関係機関や多職種等とともに、推進していく必要がある。

5．地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	５か所
総合相談窓口（ブランチ）	６か所
老人クラブ数	50 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	22 団体
民生委員・児童委員	255 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	195	介護老人福祉施設	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	29			地域密着型通所介護	44
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	7	認知症対応型通所介護	13
通所介護	42			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	19
福祉用具貸与	21	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	11				
短期入所療養介護	6			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	11				
居宅介護支援	125			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	2 か所	在宅療養支援歯科診療所	20 か所
在宅療養支援診療所	53 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	85 か所

6．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域福祉活動コーディネーター事業（各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の構築）

地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」し、相談から必要な支援へ「つなげる（支える）」地域の要として、区内全 22 地域に地域福祉活動コーディネーターを配置し、地域の特性に応じて、関係機関等と連携しつつ、地域福祉活動の推進を図っている。

■いきいき脳活（認知症予防推進事業）

区内関係者の協力のもと、高齢者が認知症の理解を深め、身近な場所で、仲間づくりとともに継続した認知症予防の自主的な取組ができるようなシステム構築に取り組んでいる。

■いきいき百歳体操推進事業

百歳体操の担い手の養成を目的としたサポーター養成講座の実施、養成後のサポーターのモチベーションの維持・向上のためのサポーター交流会、継続参加者の全体交流会を行っている。

■平野区「健康フェスタ＆食育展」

区内の医療専門職や健康づくり等の関係団体、教育機関、民間企業、行政などが連携し、健康と食について、こどもから高齢者まで、楽しんで体験し学べるイベントを開催することにより普及啓発に取り組んでいる。

13. 西成区

1．西成区プロフィール

特徴	西成区は上町台地の西側から木津川に至る間に位置しており、北に浪速区、東に阿倍野区、南に住之江区、木津川を挟んで西に大正区が隣接している。区の東部を南北にとおる旧紀州街道（住吉街道）は 16 世紀頃から堺の発展とともにひらけたもので、豊臣秀吉が堺政所や住吉大社への道中、この地で茶を楽しんだことから天下茶屋と呼ばれるようになり、大阪市顕彰史跡・天下茶屋跡を今に残している。現在は、国道 26 号・43 号などの幹線道路、地下鉄・JR・私鉄が通る交通至便の地であり、商工業のまち、庶民的なまちとして、今なお人情豊かな下町の風情が残っている。
トピックス	西成区では、南海天下茶屋工場跡地の一角には、日本最大級のオーケストラ練習場である「大阪フィルハーモニー会館」（岸里 1 丁目）があり、大阪フィルハーモニー交響楽団の活動拠点となっている。また、区の中央南部には「南津守さくら公園・スポーツ広場」（南津守 1 丁目）があり、スポーツ振興に寄与している。将来像として、あらゆる世代の区民や福祉施設などのさまざまな活動主体が協働して地域活動を進めることで、すべての区民が住みなれた地域で安心・安全に暮らせ、すべての人権が尊重されるまちの実現をめざしている。

2．統計からみる西成区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

①主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	110,410 人	11	面積	7.37 ㎢	16
人口密度	14,981 人/㎢	11	世帯数	69,401 世帯	7

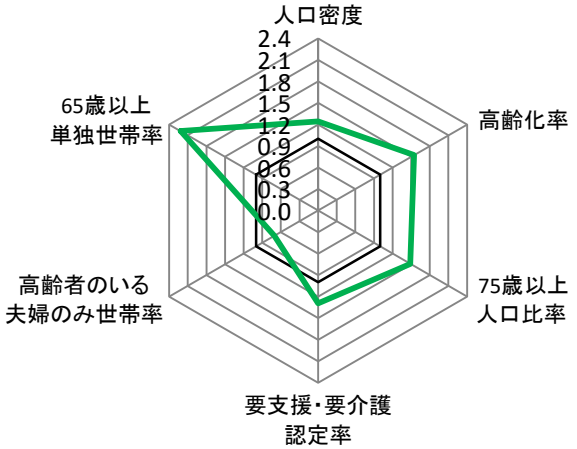
②高齢化指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	44,004 人	2	高齢化率	39.9%	1
65～74 歳人口	22,861 人	2	75 歳以上人口	21,143 人	6
65～74 歳人口比率	20.7%	1	75 歳以上人口比率	19.1%	1
要介護認定者数※1	13,053 人	2	認知症高齢者数（65 才以上）※2	3,466 人	1
（認定率）	31.7%	1	認知症高齢者数（75 才以上）※2	2,680 人	2
65 歳以上単独世帯数※3	22,456 世帯	1	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数※3（世帯率）	4,156 世帯	14
（世帯率）	32.9%	1		6.1%	20

※1：平成 29 年9月末　　※2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年4月 1 日現在）

※3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

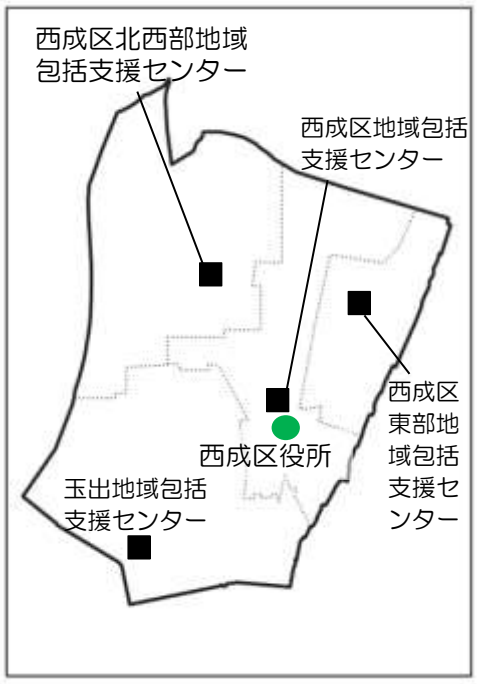
③西成区の水準（大阪市＝1 とした指数）



④西成区の高齢化の特徴

- ●高齢化率は 39.9%と 24 区中で最も高い。
- ●65～74 歳人口比率、75 歳以上人口比率も 1 位である。
- ●65 歳以上単独世帯率が 1 位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 20 位と大きな差がある。
- ●認定率は 1 位となっている。
- ●大阪市の水準に比べると、高齢化が最も進んでいる区域であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率に限り低くなっている。

3．西成区の日常生活圏域図



4．地域の状況

■西成区は、他区と比べて特に高齢化が進み、若い世代が少ないことや、あいりん地域をはじめ、生活保護率が非常に高いなどの様々な課題が存在しており、それらを解決し区の活性化を図るために、平成25 年度から西成特区構想による様々な取組みが市として進められている。
■西成区地域福祉アクションプランの取組みで、より地域の特性・実情にあった「つながりづくり」を進めるため、地域の福祉的課題に対応した地域活動を推進している。

5．地域資源情報

①地域の状況（平成 29 年３月 31 日現在）

区　分	件　数
地域包括支援センター	４か所
総合相談窓口（ブランチ）	５か所
老人クラブ数	53 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	16 団体
民生委員・児童委員	306 人

②主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年９月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	285	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	25			地域密着型通所介護	42
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	3
通所介護	31			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	16
福祉用具貸与	37	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	7				
短期入所療養介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	10				
居宅介護支援	147			複合型サービス	0

③在宅医療の状況（平成 29 年 10 月１日現在）

区　分	件　数	区　分	件　数
在宅療養支援病院	２か所	在宅療養支援歯科診療所	16 か所
在宅療養支援診療所	31 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	69 か所

6．その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

■地域ネットワーク委員（436 人）による活動
　西成区では、各地区でネットワーク委員会活動が継続されており、支援を必要としている住民の発見や地域における見守り活動の中心的な役割を果たしている。
■要援護者名簿の地域提供
　平成 18 年度から区独自の「緊急時要援護者登録事業」を開始して地域へ要援護者名簿の提供を行っており、これを平成 27 年度から全区で始まった「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」の対象者と統合し、より幅広い要援護者名簿として見守り活動を進めている。
■単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（愛称「ひと花プロジェクト」）
　社会的に孤立する単身高齢生活保護受給者の生活改善のみならず、事業を通じた社会貢献活動が評価されており、地域とのつながりが希薄であった者も地域で居場所ができ、新たな「つながり」が生まれている。
■あいりん地域を中心とした結核対策
　結核罹患率が非常に高い西成区では、高齢者を中心とした効果的な結核検診の実施により患者の早期発見・早期治療につなげるとともに、患者が最後まで治療を継続できるよう、患者一人ひとりの状況に応じた服薬支援を実施している。